

第90回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】①猫の糞の処理について

近所で飼っている猫が家の庭に糞をしてしまう。本人に直接言ってしまうとトラブルにつながってしまう可能性があるため、村で広く啓発してほしい。

⇒【村長コメント】

マナーを守ってもらうように、広報とかい等で啓発する。それでも改善されない場合は、猫の飼い主へ直接指導するなどの対応も検討していきたい。

【1】②交差点の信号機について

合同庁舎跡地前の交差点の歩行者が渡る信号の時間が短いので、もう少し長くしてほしい。

⇒【村長コメント】

警察署長に確認する。

【2】補助制度について

もうすぐ子どもが生まれるため、村の子育て世代に対する補助制度が充実していてありがたいと思っている。令和4年度からとうかい住まいる応援事業が始まるが、その直前に東海村に転入した。補助を適用してもらうことはできないのか。

⇒【村長コメント】

今回の補助制度はあくまで令和4年度以降に東海村へ転入する方を対象とするものであるため、すでに在住している方には適用できない。東海村では、子育て世代に対しての経済的な支援として医療費の無償化などを行っているが、これからも経済的な負担を軽減する補助制度を考えていきたいと思っている。また 今回の事業は転入者を呼び込むためのものだが、今後も村民の方からの意見を聞きながら、住んでいる人が住み続けやすくなるような補助制度についても考えていきたいと思っている。

【3】①中学校の備品の設置について

東海中学校の校庭には、屋外備品（バスケットゴール、鉄棒等）が何もない。村の予算で設置することはできないのか。

⇒【村長コメント】

担当課が現場の声を聞いて必要であると判断し、予算を要求して認められれば、屋外備品の設置が可能となる。村の予算は細分化されていて融通が利かない部分もある。現場の人の意見を尊重するため、予算の取り方を工夫できるように考えてみたい。

【3】②学校運営について

保護者から教師に直接意見を言いにくい時がある。学校外の第三者から、意見を取り入れるための組織を作るか、積極的に教育委員会等で話し合いの場を設ける等して、開けた学校運営を行ってほしい。

⇒【村長コメント】

学校内では収まらない課題もあるため、保護者や地域の人たちの協力が必要となる。先進的に活動している自治体等を参考にしながら検討していきたい。

【3】③宅地開発・道路整備について

東日本大震災の後に、宅地開発や道路の整備が進んだと感じている。宅地が増えると転入者も増えることが期待できるため、喜ばしいことだと思う。今後も続けてほしい。

⇒【村長コメント】

震災前から区画整理を始めていて、それが形になってきたところである。道路に関しても、交通安全のための舗装の打ち直しや拡幅も含めて基盤整理を急いでいる。選ばれるまちを目指して、今後も進めて

いきたい。

【4】①白方跡地公園のトイレの荷物フックについて
白方跡地公園のトイレの個室に荷物を掛けるフックがないため、不便である。どうにかならないか。

⇒ **【村長コメント】**

担当課において、他の公園の現状を確認した上で、検討する。

【4】②東海中野球場の道路沿いフェンス周りの除草について
東海中野球場の道路沿いフェンスの周りを除草してほしい。

⇒ **【村長コメント】**

担当課に確認し、状況に応じて対応を考える。

【4】③荒谷台住宅のフェンス補修について
荒谷台住宅のフェンスが壊れているため、補修してほしい。

⇒ **【村長コメント】**

原子力機構へ伝えておく。

【4】④村内ストッカーの移転について
村内にあるストッカーが東海病院の近くに移転するという話を聞いた。普段からストッカーを利用しているため、なくさないでほしい。

⇒ **【村長コメント】**

近隣住民のほか、ストッカーを利用している人も多いため、運営会社へ当面は残してほしい旨、お願いしている。

※特筆事項がなかった方につきましては、掲載を割愛させていただきます。